

学校だより 10月 第6号  
平成30年9月28日発行



おおやば

さいたま市立大谷場中学校  
〒336-0016  
さいたま市南区大谷場2-13-54  
TEL 048(882)9962 FAX 048(811)1336  
URL <http://oyaba-j.saitama-city.ed.jp/>  
MAIL [oyaba-j@saitama-city.ed.jp](mailto:oyaba-j@saitama-city.ed.jp)

### マニュアルのこわさ

「秋の日は釣瓶落とし」のようだとたとえられますが、一段と日の暮れるのが早くなったように感じます。新人体育大会終了後から、大谷場中学校の下校時刻は、17時30分（延長の場合は18時00分）となりますので、ご承知おきください。

天候の関係で一日遅れの実施となりました第58回体育祭では、多くの保護者や地域の方に盛大なる応援をいただきました。ありがとうございました。活動する彼らを見ていて、私の中には「青春、友情、真剣、全力投球、完全燃焼・・・」など、いくつもの言葉が浮かびあがりました。そして、「一生懸命は美しい」との思いがしっかりと残りました。10月には合唱祭をさいたま市文化センターで行います。天使のような歌声、美しいハーモニーを是非とも聴きにご来場ください。お待ちしております。

さて、二学期になって保護者の方とお話をする機会がありました。「うちの子、幼くて心配です。他のお子さんが立派なのに・・・」というお話でした。その方は、子育ての本（所謂マニュアル本）の内容とお子さんの状態を比較し、心配なさっていました。

今から23年前に、神奈川県真鶴町にある横浜国立大学の理科教育実習施設に理科の研修で参加したことがあります。

ムラサキウニの発生の実験です。岩場で採集したメスとオスのムラサキウニに、塩化カリウム水溶液を注入します。すると、このことが刺激となってムラサキウニは、卵と精子を放出します。解説書（マニュアル）には、海水温15～25℃なら、精子を卵に注げば1分ほどで受精膜が観察でき、2つに分割するのは1時間後、その後の分割は40分ごとで、3時間後に16個に分かれるとあります。



ムラサキウニ

この一連の流れを顕微鏡で観察するとともに、写真撮影をするというのが私の目的でした。顕微鏡に釘付けになりながら、夜通し観察を続けていると気付いたことがありました。それは、受精したのはほとんど同時なのに、分割の進み具合が卵によって異なるということです。つまり、卵割の早い卵もあれば、遅い卵もあるのです。でも、遅い卵も確実に卵割をして成長をしていきました。

昨今、書籍で様々な解説書（マニュアル）を目にします。その一つに育児書なるマニュアルもあります。これらを読むと子育てや子どもの発達段階等について丁寧に、しかも細かく記述されています。それを参考にすることも意義のあることだと思います。そして、ふと我が子と比較してしまうのは当然のことでしょう。しかし、「～になっていなければ遅れている」などという考えを強くもちすぎってしまうのは、いかがなものでしょうか。一人ひとりの発達段階や成長には、個人差があるものです。少しぐらい成長が遅くても、慌てる必要はないのではないかとというのが、私の考えです。中国の老子の教えに、私の好きな言葉があります。

「大器晩成<タイキバンセイ>」。

※大きな器が早く出来上がらないように、大人物は世に出るまでに時間がかかるということ。

あわてず、あせらずに、まず初心にかえり、「生まれてきてくれて、ありがとう」の気持ちを大切に、大きな愛をもって一日一日を大事にしながらか、お子さんと向き合っていくことが必要なのではないかと考えます。ご家庭でも話し合ってみてください。

（校長 はすみ さとし）